



2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 株式会社 アマダ 上場取引所 東
 コード番号 6113 URL <https://www.amada.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員（氏名） 磯部 任
 問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員（氏名） 三輪 和彦 (TEL) 0463-96-1111
 経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	171,715	△24.8	18,941	△24.4	21,041	△19.4	13,837	△23.6	13,732	△23.3
2020年3月期第3四半期	228,354	△3.1	25,044	△16.8	26,117	△15.4	18,114	△16.9	17,898	△17.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 18,068百万円(4.7%) 2020年3月期第3四半期 17,261百万円(△5.8%)

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第3四半期	39	50	—	—
2020年3月期第3四半期	50	21	50	21

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	540,496	438,883	435,409	80.6				
2020年3月期	558,595	434,549	431,091	77.2				

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2020年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00	—
2021年3月期	—	15.00	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属 する当期利益		基本的1株当たり当期 利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	240,000	△25.0	19,000	△45.2	13,000	△44.4	37	39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

除外 1社 (社名) 株式会社アマダ

(注) 当社は、2019年12月12日付で締結した合併契約に基づき、2020年4月1日付で当社の完全子会社であった株式会社アマダを吸収合併したため、連結の範囲から除外しております。また、同日付で、当社は株式会社アマダホールディングスから株式会社アマダに商号変更しております。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期3Q	359,115,217株	2020年3月期	359,115,217株
2021年3月期3Q	11,451,637株	2020年3月期	11,449,424株
2021年3月期3Q	347,665,022株	2020年3月期3Q	356,449,061株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書	10
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	11
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(追加情報)	14
3. 補足情報	15
受注及び販売の状況	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い世界全体で経済活動が停滞し、設備投資も総じて低迷していますが、年度後半に入り回復傾向に転じる地域も出てきています。

このような経済環境のもと、当社グループでは、レーザ、ベンディングを中心とする商品ラインアップ拡充および自動化推進、当社のIoT、V-factory等によるアフタービジネスの強化、デジタル営業体制構築、製造におけるIoT導入などコロナ後の環境変化を見据えた攻めの経営戦略とともに、経費削減や抜本的な構造改革を通じた収益体質の強化を推進しております。当第3四半期連結累計期間における当社の経営成績は、売上収益171,715百万円（前年同期比24.8%減）となりました。売上収益の内訳は、国内73,082百万円（前年同期比26.7%減）、海外98,633百万円（前年同期比23.3%減）となりました。損益面につきましては、減収の影響が大きく経費削減や固定資産売却益計上はあったものの、営業利益が18,941百万円（前年同期比24.4%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益が13,732百万円（前年同期比23.3%減）となりました。

事業別・地域別の概況につきましては、以下のとおりです。

(事業別売上収益、営業利益の状況)

事業別	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
金属加工機械事業					
売上収益	181,276	79.4	140,257	81.7	△22.6
(板金部門)	(158,632)	(69.5)	(124,634)	(72.6)	(△21.4)
(微細溶接部門)	(22,639)	(9.9)	(15,622)	(9.1)	(△31.0)
(調整額)	(5)	—	—	—	—
営業利益	19,212	—	17,332	—	△9.8
金属工作機械事業					
売上収益	46,154	20.2	30,458	17.7	△34.0
(切削部門)	(26,835)	(11.7)	(18,361)	(10.7)	(△31.6)
(プレス部門)	(14,302)	(6.3)	(9,167)	(5.3)	(△35.9)
(研削盤部門)	(5,013)	(2.2)	(2,929)	(1.7)	(△41.6)
(調整額)	(3)	—	—	—	—
営業利益	5,212	—	592	—	△88.6
その他(注)					
売上収益	932	0.4	1,000	0.6	7.3
営業利益	619	—	1,016	—	64.2
調整額					
売上収益	△8	—	—	—	—
営業利益	—	—	—	—	—
合計(連結)					
売上収益	228,354	100.0	171,715	100.0	△24.8
営業利益	25,044	—	18,941	—	△24.4

(注) その他は、遊休地の有効利用を目的としたショッピングセンター等の不動産賃貸事業等です。

① 金属加工機械事業

売上収益は140,257百万円（前年同期比22.6%減）と減少しましたが、営業利益は固定資産売却益を計上したことなどにより17,332百万円（前年同期比9.8%減）と小幅減少となりました。

<板金部門>

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	66,254	41.8	50,418	40.5	△23.9
海 外	92,378	58.2	74,216	59.5	△19.7
(北米)	(39,678)	(25.0)	(33,342)	(26.7)	(△16.0)
(欧州)	(32,335)	(20.4)	(24,564)	(19.7)	(△24.0)
(アジア他)	(20,363)	(12.8)	(16,309)	(13.1)	(△19.9)
合 計	158,632	100.0	124,634	100.0	△21.4

(注) 本表の地域別売上収益は、顧客の所在地別の売上収益です。(以下の表も同様。)

日本：日本経済は、5月をボトムに鉱工業生産指数が前月比プラスに転じるなど持ち直しの動きが見られましたが、年末にかけて新型コロナウイルスの感染再拡大を背景に再びマイナスに転じるなど、本格的な回復基調には至っておりません。こうした中、配電盤・制御盤、半導体製造装置等の5G関連向けは堅調でしたが、工作機械関連や鋼材販売業向けの販売が低調に推移したことで、売上収益は50,418百万円（前年同期比23.9%減）となりました。

北米：米国経済は、政府による大規模な経済政策や金融緩和を受け、年央から回復局面へと転換しております。新型コロナウイルス感染拡大による設備投資の手控えの影響を受け、当社の販売は縮小しました。但し、政府の経済対策もあり米国内への製造回帰による設備投資を背景とする5G関連投資や新型コロナウイルスに関連した医療機器関連では需要が堅調に推移しました。またキャンプ用品等のアウトドア向け、コンベア等の物流関連向けの販売は堅調に推移し、販売活動における早急なWeb化の実施も奏功したことで、売上収益は33,342百万円（前年同期比16.0%減）と他地域と比較して小幅減少となりました。

欧州：欧州経済も年央から一旦、回復に転じましたが、秋口からの感染再拡大に対応したロックダウン等の影響で、回復にブレーキが掛かった状況です。そのような中、当社においても年央には医療機器関連向けや建築関連向けでは需要環境は改善したものの、その他の業種では設備投資の手控えが見られ、ドイツやフランス、イタリア、イギリス等の主要国を中心に販売が減少したことで売上収益は24,564百万円（前年同期比24.0%減）となりました。

アジア他：中国経済は他地域に先がけて回復に転じ、成長率の加速が顕著であり、その中で製造業の設備投資も感染症対策に対応する医療機器、5Gを中心とする電子・通信設備を中心に堅調です。一方、その他のアジア・新興国経済は、感染影響に改善の兆しが見られない中、総じて厳しい状況が続いています。当社においても、中国ではこれらの需要を取り込み、政府の新エネルギー車への国策もあり、充電ステーションや風力、太陽光発電等で需要が高まっている配電盤・制御盤の販売が堅調でした。また5G関連向けや医療機器関連向け等でも好調に推移し、中国では増収でした。その反面、台湾、インド等で設備投資の慎重化が見られるなど、需要の低迷から売上が大きく落ち込みました。以上からアジア他全体として、売上収益は16,309百万円（前年同期比19.9%減）となりました。

<微細溶接部門>

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	4,404	19.5	3,403	21.8	△22.7
海 外	18,234	80.5	12,219	78.2	△33.0
(北米)	(3,857)	(17.0)	(2,950)	(18.9)	(△23.5)
(欧州)	(5,734)	(25.3)	(2,964)	(19.0)	(△48.3)
(アジア他)	(8,641)	(38.2)	(6,303)	(40.3)	(△27.1)
合 計	22,639	100.0	15,622	100.0	△31.0

他地域に先んじて経済が回復した中国においてはEV等の電池向けの販売が増収となるなど、需要環境の改善が見られましたが、北米、欧州、日本で、主要顧客である電装品等の自動車部品関連業種における新規設備投資抑制の影響を受け、販売が減少しました。

② 金属工作機械事業

売上収益は30,458百万円（前年同期比34.0%減）、営業利益は592百万円（前年同期比88.6%減）となりました。

<切削部門>

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	14,525	54.1	9,302	50.7	△36.0
海 外	12,310	45.9	9,058	49.3	△26.4
(北米)	(5,238)	(19.5)	(3,512)	(19.1)	(△32.9)
(欧州)	(3,627)	(13.5)	(2,761)	(15.0)	(△23.9)
(アジア他)	(3,444)	(12.9)	(2,784)	(15.2)	(△19.2)
合 計	26,835	100.0	18,361	100.0	△31.6

中国では政府の支援策によりインフラ投資が活発であったことで鋼材需要が底上げされ、需要が堅調に推移しましたが、その他の地域では国内などで、主要顧客である自動車関連の生産や粗鋼生産高が総じて低調であったため、鋼材業の稼働率も縮小したことで、販売が減少しました。

<プレス部門>

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	10,709	74.9	7,374	80.4	△31.1
海 外	3,592	25.1	1,792	19.6	△50.1
(北米)	(1,622)	(11.3)	(957)	(10.4)	(△41.0)
(欧州)	(219)	(1.5)	(151)	(1.7)	(△30.9)
(アジア他)	(1,751)	(12.3)	(683)	(7.5)	(△61.0)
合 計	14,302	100.0	9,167	100.0	△35.9

主要顧客である自動車関連業界では、自動車生産台数の回復も見られるものの、大型の設備投資については依然抑制や納期延伸の傾向にあったため、販売が減少しました。

<研削盤部門>

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	2,905	58.0	1,587	54.2	△45.4
海 外	2,107	42.0	1,342	45.8	△36.3
(北米)	(335)	(6.7)	(243)	(8.3)	(△27.4)
(欧州)	(681)	(13.6)	(555)	(19.0)	(△18.5)
(アジア他)	(1,091)	(21.7)	(543)	(18.5)	(△50.2)
合 計	5,013	100.0	2,929	100.0	△41.6

建設機械関連やEV関連など一部の需要に戻りが見られるものの、全体として金型、工具関連向けに主力のプロファイル研削盤の販売が低調に推移しました。

なお、各部門別の状況を合算した主要地域の状況は以下のとおりです。

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	99,718	43.7	73,082	42.6	△26.7
海 外	128,636	56.3	98,633	57.4	△23.3
(北米)	(50,732)	(22.2)	(41,007)	(23.9)	(△19.2)
(欧州)	(42,599)	(18.6)	(30,997)	(18.0)	(△27.2)
(アジア他)	(35,304)	(15.5)	(26,628)	(15.5)	(△24.6)
合 計	228,354	100.0	171,715	100.0	△24.8

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の概要及び分析は以下のとおりです。

	前連結会計年度末 (2020年3月末)	当第3四半期連結会計期間末 (2020年12月末)	増減
流動資産(百万円)	299,338	285,872	△13,465
非流動資産(百万円)	259,256	254,624	△4,632
総資産(百万円)	558,595	540,496	△18,098
負債(百万円)	124,045	101,613	△22,431
資本(百万円)	434,549	438,883	+4,333
親会社所有者帰属持分比率(%)	77.2%	80.6%	+3.4pt

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して、18,098百万円減少し、540,496百万円となりました。流動資産については、減収の影響により営業債権及びその他の債権が減少したことや、在庫削減の推進により棚卸資産が減少したことなどにより前連結会計年度末比13,465百万円減少の285,872百万円となりました。非流動資産は投資有価証券の売却や償還によりその他の金融資産が減少したことなどにより前連結会計年度末比4,632百万円減少の254,624百万円となりました。

負債は仕入れ抑制により営業債務及びその他の債務が減少したことにより前連結会計年度末比22,431百万円減少し、101,613百万円となりました。また資本については、投資有価証券の評価益等により前連結会計年度末比4,333百万円増加の438,883百万円となり、これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の77.2%から80.6%と上昇しました。

連結キャッシュ・フローにつきましては、現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ18,191百万円増の65,358百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は33,791百万円であり、前第3四半期連結累計期間と比較し14,239百万円増加しました。その主な要因は、在庫削減の推進により棚卸資産が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果、獲得した資金は990百万円であり、前第3四半期連結累計期間と比較し13,769百万円支出額が減少しました。その主な要因は、新規の設備投資額が減少した一方で、遊休資産の売却を行ったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果、支出した資金は17,609百万円であり、前第3四半期連結累計期間と比較し7,034百万円支出額が増加しました。その主な要因は、前第3四半期連結累計期間には短期借入金により米国での設備増強の為に資金を獲得したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の業績において、販売が当初見込みを上回ったことや、経費削減が順調に進捗していることから、当初想定を上回る通期業績が見込まれるため、2020年11月11日に公表した業績予想値を下記のとおり修正いたします。

予想の前提となる第4四半期連結会計期間の主要為替レートは、1米ドル=103.50円、1ユーロ=125.00円を想定しており、通期の平均レートは1米ドル=105.46円、1ユーロ=123.03円となります。

	売上収益	営業利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	233,000	12,000	6,000	17.26
今回修正予想 (B)	240,000	19,000	13,000	37.39
増減額 (B-A)	7,000	7,000	7,000	—
増減率 (%)	3.0	58.3	116.7	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	320,112	34,682	23,390	65.91

なお、上記の予想数値は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって変動する可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2020年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	47,167	65,358
営業債権及びその他の債権	126,058	101,677
棚卸資産	100,495	90,153
その他の金融資産	15,736	20,355
その他の流動資産	9,879	8,327
流動資産合計	299,338	285,872
非流動資産		
有形固定資産	154,907	158,203
のれん	5,928	5,973
無形資産	15,009	13,827
持分法で会計処理されている 投資	422	573
その他の金融資産	59,958	54,954
繰延税金資産	13,496	10,605
その他の非流動資産	9,534	10,485
非流動資産合計	259,256	254,624
資産合計	558,595	540,496

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2020年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	51,745	33,664
借入金	16,879	14,584
未払法人所得税	2,909	3,440
その他の金融負債	3,086	3,718
引当金	1,712	3,135
その他の流動負債	23,470	20,864
流動負債合計	99,803	79,406
非流動負債		
借入金	4,353	3,795
その他の金融負債	10,125	10,222
退職給付に係る負債	3,001	3,142
引当金	6	6
繰延税金負債	2,651	950
その他の非流動負債	4,103	4,089
非流動負債合計	24,242	22,206
負債合計	124,045	101,613
資本		
資本金	54,768	54,768
資本剰余金	143,884	143,883
利益剰余金	248,515	248,714
自己株式	△12,089	△12,091
その他の資本の構成要素	△3,986	133
親会社の所有者に帰属する 持分合計	431,091	435,409
非支配持分	3,457	3,473
資本合計	434,549	438,883
負債及び資本合計	558,595	540,496

(2) 要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上収益	228,354	171,715
売上原価	△130,515	△103,162
売上総利益	97,839	68,553
販売費及び一般管理費	△73,559	△59,014
その他の収益	1,270	12,526
その他の費用	△505	△3,123
営業利益	25,044	18,941
金融収益	1,489	2,491
金融費用	△735	△513
持分法による投資利益	319	121
税引前四半期利益	26,117	21,041
法人所得税費用	△8,003	△7,204
四半期利益	18,114	13,837
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	17,898	13,732
非支配持分	216	104
四半期利益	18,114	13,837
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	50.21	39.50
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	50.21	—

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	18,114	13,837
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	2,420	1,814
項目合計	2,420	1,814
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△3,226	2,229
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する負債性金融資産	△23	187
持分法によるその他の包括利益	△22	△0
項目合計	△3,273	2,416
その他の包括利益合計	△853	4,231
四半期包括利益	17,261	18,068
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	17,039	17,878
非支配持分	221	190
四半期包括利益	17,261	18,068

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分								非支配持分	資本合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素						合計
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額	持分法によるその他の包括利益	合計			
2019年4月1日残高	54,768	153,119	243,596	△11,608	651	888	15	1,555	441,431	3,848	445,280
四半期利益	—	—	17,898	—	—	—	—	—	17,898	216	18,114
その他の包括利益	—	—	—	—	2,396	△3,231	△22	△858	△858	5	△853
四半期包括利益	—	—	17,898	—	2,396	△3,231	△22	△858	17,039	221	17,261
配当金	—	—	△17,473	—	—	—	—	—	△17,473	△127	△17,601
自己株式の取得	—	—	—	△1,900	—	—	—	—	△1,900	—	△1,900
自己株式の処分(ストック・オプションの行使による処分を含む)	—	△7	—	19	—	—	—	—	11	—	11
所有者との取引額等合計	—	△7	△17,473	△1,881	—	—	—	—	△19,363	△127	△19,490
2019年12月31日残高	54,768	153,111	244,021	△13,489	3,047	△2,343	△7	696	439,108	3,942	443,051

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分								非支配持分	資本合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素						合計
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額	持分法によるその他の包括利益	合計			
2020年4月1日残高	54,768	143,884	248,515	△12,089	2,002	△5,982	△5	△3,986	431,091	3,457	434,549
四半期利益	—	—	13,732	—	—	—	—	—	13,732	104	13,837
その他の包括利益	—	—	—	—	2,002	2,143	△0	4,145	4,145	85	4,231
四半期包括利益	—	—	13,732	—	2,002	2,143	△0	4,145	17,878	190	18,068
配当金	—	—	△13,558	—	—	—	—	—	△13,558	△174	△13,732
自己株式の取得	—	—	—	△2	—	—	—	—	△2	—	△2
自己株式の処分	—	△0	—	0	—	—	—	—	0	—	0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	25	—	△25	—	—	△25	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△0	△13,533	△2	△25	—	—	△25	△13,561	△174	△13,735
2020年12月31日残高	54,768	143,883	248,714	△12,091	3,979	△3,839	△6	133	435,409	3,473	438,883

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	26,117	21,041
減価償却費及び償却費	11,877	12,707
金融収益及び金融費用	△1,362	△2,036
持分法による投資利益	△319	△121
固定資産除売却損益	46	△10,219
棚卸資産の増減	△15,516	11,088
営業債権及びその他の債権の増減	23,019	23,964
営業債務及びその他の債務の増減	△10,365	△16,755
退職給付に係る負債の増減	△956	△1,037
引当金の増減	△59	1,359
その他	2,672	△1,292
小計	35,155	38,699
利息の受取額	660	544
配当金の受取額	184	160
利息の支払額	△94	△143
法人所得税の支払額	△16,353	△5,469
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,552	33,791
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額	6,101	△1,929
有価証券の取得による支出	—	△6,000
有価証券の売却及び償還による収入	3,309	5,800
投資有価証券の取得による支出	△3,254	—
投資有価証券の売却及び償還による収入	5,938	6,906
有形固定資産の取得による支出	△20,276	△11,484
有形固定資産の売却による収入	261	10,172
無形資産の取得による支出	△3,820	△2,808
その他	△1,038	334
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,779	990
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	604
短期借入れの返済による支出	△143	△604
短期借入金の純増減額	12,116	△1,527
長期借入れによる収入	11	4,244
長期借入れの返済による支出	△1,135	△4,598
リース負債の返済による支出	△1,875	△1,977
自己株式の取得による支出	△1,900	△2
配当金の支払額	△17,533	△13,574
非支配持分への配当金の支払額	△127	△174
その他	11	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,575	△17,609
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,007	1,019
現金及び現金同等物の増減額	△4,810	18,191
現金及び現金同等物の期首残高	56,295	47,167
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,485	65,358

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	金属加工 機械	金属工作 機械	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
売上収益						
外部顧客からの売上収益	181,271	46,150	932	228,354	—	228,354
セグメント間の売上収益	5	3	—	8	△8	—
合計	181,276	46,154	932	228,363	△8	228,354
セグメント利益	19,212	5,212	619	25,044	—	25,044
金融収益						1,489
金融費用						△735
持分法による投資利益						319
税引前四半期利益						26,117

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	金属加工 機械	金属工作 機械	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
売上収益						
外部顧客からの売上収益	140,257	30,458	1,000	171,715	—	171,715
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
合計	140,257	30,458	1,000	171,715	—	171,715
セグメント利益	17,332	592	1,016	18,941	—	18,941
金融収益						2,491
金融費用						△513
持分法による投資利益						121
税引前四半期利益						21,041

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、営業利益と調整を行っております。

3. 金属加工機械事業の「セグメント利益」には、小牧工場売却に伴い計上した売却益を含んでおります。

4. その他の「セグメント利益」には、保険代理店業務を営む当社連結子会社の事業を譲渡した際の譲渡益を含んでおります。

(追加情報)

当社グループの当第3四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の影響は、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した状況・前提条件の範囲内であり、当該仮定のもと、会計上の見積りに影響を与える項目についても評価を実施し、この結果、当第3四半期連結累計期間の要約四半期連結財務諸表における重要な影響はないと判断しております。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

1. 受注状況

部門別	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)				当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)			
	受注高		受注残高		受注高		受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
板金部門	166,197	71.3	64,533	75.2	130,363	73.3	54,352	77.5
微細溶接部門	20,590	8.8	6,739	7.8	15,100	8.5	4,880	6.9
切削部門	26,996	11.6	5,118	6.0	18,837	10.6	3,689	5.3
プレス部門	14,548	6.2	7,303	8.5	9,712	5.4	5,728	8.2
研削盤部門	4,004	1.7	2,107	2.5	2,894	1.6	1,496	2.1
その他	930	0.4	—	—	1,000	0.6	—	—
合計	233,268	100.0	85,801	100.0	177,907	100.0	70,146	100.0

2. 販売実績

部門別	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
板金部門	158,632	69.5	124,634	72.6
微細溶接部門	22,639	9.9	15,622	9.1
切削部門	26,835	11.7	18,361	10.7
プレス部門	14,302	6.3	9,167	5.3
研削盤部門	5,013	2.2	2,929	1.7
その他	932	0.4	1,000	0.6
合計	228,354	100.0	171,715	100.0